

『令和4年度防衛問題セミナー 防衛省・自衛隊に  
おけるサイバー分野の取組』（2023年5月放送）

- MC : ○ この放送をお聞きの皆さん、こんにちは。『防衛問答近中のござ  
る』、この番組は防衛省近畿中部防衛局の協力によりお届けします。
- 前回の放送では、今年2月に京都府京丹後市で開催されました『日  
米交流音楽会』の様をお聞き頂きました。
- 放送の中でも紹介がありましたが、毎回好評を博している『日米交  
流音楽会』ですが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2  
020年以降、開催が中止となっていました。この度、3年ぶりの  
開催となりました。
- この放送をお聞きの皆さんも番組を通じて在日米陸軍軍楽隊と丹後  
吹奏楽団のどちらも魅力的なとって迫力のある演奏の数々を楽しん  
で頂けたのではないのでしょうか。
- 今回は、近畿中部防衛局から新しいメンバーにお越し頂いていま  
す。A報道官とB地方協力確保室長のお二人です。お二人ともこの4  
月の異動で新たに着任され、本日、初めての番組へのご出演となりま  
す。どうかよろしく願います。
- A・B : ○ こちらこそよろしく願います。
- MC : ○ お二人とも初めてのご出演となりますが、この放送を楽しみにお聞  
き下さっているリスナーの皆さんに、簡単に自己紹介をお願いできま  
すでしょうか。
- A : ○ はい。それでは私の方から先に自己紹介させていただきます。放送をお  
聞きの皆さん、こんにちは。この4月に近畿中部防衛局報道官に着任  
しましたAです。これまでこの番組については、近畿中部防衛局のホ  
ームページにアップされているものを聞いたことはあったのですが、  
まさか自分が出演するとは思ってもいなかったもので、驚きとともに非  
常にとても緊張しています。
- ただ、このコミュニティー放送局のFMマザーシップが、地域の皆  
様のために情報発信をされていることについて、大変素晴らしいこと  
だと感じていましたので、自分も出演することとなり嬉しく思いま  
す。
- 私もこれまでの前任者と同様に防衛省・自衛隊について、皆さんに  
分かり易い情報発信に心がけていきたいと考えていますので、皆様よ  
ろしく願います。
- MC : ○ A報道官、ありがとうございます。この番組では歴代ご出演の皆さ

んにリスナーにとっても分かり易く、防衛省・自衛隊の施策や活動、参考となる情報発信に努めて頂きました。A報道官、どうぞよろしくお願い致します。それでは続いてB室長、よろしくお願い致します。

B : ○ 地方協力確保室長のBです。これまでも近畿中部防衛局に勤務していましたが、地方協力確保室の仕事に携わるのは今回が初めてになります。

○ まず、簡単に当室の業務を紹介させて頂きますと、地方協力確保室というのは、その名のとおり地方公共団体や地域住民の皆様のご理解とご協力を得るために、各種の施策を行っている部署になります。

○ 本日、出演させて頂いているFM放送もそうなのですが、防衛問題に関するセミナーの開催や各種団体に講師を派遣したり、地方公共団体へ防衛白書を説明することなどを通じて広く防衛政策についてのご理解を得られるよう努めています。

○ また、近畿中部防衛局の管内で米軍基地が所在している京都府京丹後市におきましては、米軍基地関係者と基地周辺住民の皆様が交流するイベントを企画し、実施しておりますので、このようなイベントを通して米軍基地に対する基地周辺住民の皆様のご理解が深まることを期待しています。

○ そのほかにも、災害等に備えるために訓練を実施したり、大阪府や奈良県などの自治体を実施する訓練にも参加したりしているところです。

○ 引き続き、各種の施策を継続しながら、新しいアイデアがあれば、盛り込んでいきたいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。

MC : ○ B室長、ありがとうございます。この番組を楽しみにされているリスナーの皆さんに、これからもわが国の防衛政策や自衛隊の活動、更には私たちの暮らしに役立つ情報などをお聞かせ下さい。

○ 改めまして、A報道官、B室長、よろしくお願い致します。

さて、それでは本日はどのようなお話をお聞かせ下さいますか。

B : ○ 本日は、前回の日米交流音楽会のお話とは異なり少々堅い話題になりますが、先月、You Tube で配信しました令和4年度防衛問題セミナー『防衛省・自衛隊におけるサイバー分野の取組』の講演をお聞き頂きます。

○ 講演をお聞き頂く前に簡単に防衛問題セミナーについてご説明させて頂きます。防衛問題セミナーは、広く国民の皆さまに日本の防衛政策や自衛隊の活動についてご理解頂くため全国各地で開催しています。

○ これまでは、会場に多数の皆様にご来場頂きセミナーを開催して参

りましたが、ここ数年はご承知のように新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンライン形式で実施しており、今回も同様に期間限定の You Tube での配信になりましたが、たくさんの方々にご視聴頂きました。

MC : ○ 講演はどのような内容ですか。情報通信ネットワークへのサイバー攻撃などのニュースはよく耳にしますが、身近に経験したことがないため、正直に言って今一つピンと来ないところがあります。

B : ○ そうですね。ニュースではよく聞きますが、私たちの日々の暮らしの中で実際に経験されることは余りないかも知れませんね。

○ 情報通信ネットワークは経済活動をはじめ、私たちの生活に必要な不可欠なものとなっています。そのため情報通信ネットワークに対するサイバー攻撃は、人々の生活に深刻な影響をもたらしているとともに、サイバー空間における諜報活動の一環であるサイバー攻撃はわが国の安全保障にとって現実の脅威となっています。

○ サイバー領域を活用した情報通信ネットワークは、様々な領域における自衛隊の活動の基盤となっており、これに対する攻撃は自衛隊の組織的な活動に重大な障害を生じさせます。

○ 防衛省・自衛隊としてもサイバー領域における取り組みとして、専門部隊の強化、実戦的な演習への参加、人材の養成などによりサイバー防衛能力を抜本的に強化しています。

○ 今回の防衛問題セミナーでは、『防衛省・自衛隊におけるサイバー分野の取組』と題しまして、防衛省整備計画局情報通信課 A I ・サイバーセキュリティ推進室の石丸室長にご講演頂きました。

○ 石丸室長は防衛庁入庁以来、サイバーセキュリティなどの情報通信研究に携われて来られました。この番組をお聞き下さっている皆さまには、この講演を通じて防衛省・自衛隊のサイバーセキュリティへの取り組みについてご理解頂ければと思います。

MC : ○ ありがとうございました。それでは防衛省整備計画局情報通信課 A I ・サイバーセキュリティ推進室の石丸室長の講演をお聞き下さい。

～防衛問題セミナー音源を放送（約45分）～

MC : ○ 『防衛問答近中のござる』、今回の放送では今年3月に You Tube で配信されました防衛問題セミナーの講演の模様をお聞き頂きました。

○ この放送を通じて防衛省・自衛隊のサイバーセキュリティへの取り組みについてご理解頂けたのではないのでしょうか。

○ それでは今日はこの辺でお別れです。次回の放送もお楽しみに。それでは皆さん、さようなら。

(完)